

ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組 氏名 B男 策定責任者 策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 移動は車椅子を使用する 	<ul style="list-style-type: none"> 交換用のオムツを用意する 	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう」と挨拶をし、オムツの確認をする。濡れているときには、交換し、濡れていないときには、パットのみ外す。 布団の上に座ってもらい、肩や腕を軽くマッサージし、眠気を覚ましてもらう。 車椅子で洗面所に移動する。 声やよだれが出る時は喉が渴いていることがあるのでお茶を飲んでもらう。 本人専用のデッキで島倉千代子など聞いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 着替えを済ませたら朝食までは好きな演歌を聞いてもらう。 車椅子のときは、毛布を掛け、寒くないよう配慮する。(毛布で足をくるむようにする) 冬期はコタツにあたっていてもらうのも良い。 皮膚がかぶれやすいため、尿取りパットは朝のうちにはずす。 口が渴き、よだれが垂れるので水分補給をしてもらう。

2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> 夜の着替えは職員とするので、パジャマ、下着はカゴに入れフロアに準備しておく 常時、エプロン着用 現在エプロンは使用していない 冬期は、袖無しを着用する 	<ul style="list-style-type: none"> 「着替えをするよ」と声掛けして行う。 体は固いが、「手を伸ばせるかな」等の声を掛けると、少し緩めてくれるので、声掛けしながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず「脱ぐよ」「着るよ」の声を掛けてから着脱する。 着替えをするときは、「協力してくれるんだねありがとう」と声掛けしながら行い、少しでも自分から着替えに協力してくれた時には、「ありがとう上手にできるねー」等の励みとなるような言葉を伝える。 エプロンは汚れやすいので、常にきれいなものを着用するよう配慮する。 着脱の時には片方の手を先に行い、次に頭、そしてもう片方の手という順番ですとよい。

3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> 濡れたタオルを準備する 髭剃りを準備する 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子で洗面所に移動してもらう。 「顔拭こうね」と声掛けし、優しく拭く。 「髭剃るよ」と声掛けしてから髭を剃る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「洗面所へ行くよ」と伝えてから、移動する。 寒い時は、お湯を使い、温かいタオルで顔を拭く配慮をする。 拭き終わったら、「きれいになったよ」と終わったことを伝える。 目、口の回りは、汚れていることが多いのでしっかり拭く。

4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> 食事量：小 エプロン、黒のお盆、スプーン、箸、お茶コップを準備 大きいものは、一口大にする 朝食：ジャムパン アルカリイオン水を用意する(ペットボトル) 薬：朝、昼、夕あり 服薬用ハチミツ 	<ul style="list-style-type: none"> 早飯のメンバーと一緒に食堂に入ってもらい、移動は車椅子を使用する。 全面介助にて食事を提供する。 メニューを知らせながら食事を提供する。 食べやすい姿勢で、座れているか確認する。 朝食のパンは、パンの耳を切り、牛乳を浸すと食べやすい。 服薬はハチミツを使用する。 薬の服用は食前に服用してもらう。現在、食後に服用 	<ul style="list-style-type: none"> 「ご飯だよ」の声を掛け誘導。 言葉での要求ができないので、時々お茶、汁物などを飲んでもらう等、本人の希望に添えるよう心がける。 本人のペースで食事を進める。 お茶、汁物がいらなときは、「ブクブクブク」とするので、「今はいらないなだね」と応え時間を置いてからまた飲んでもらう。 嫌そうな顔をしたときには、無理に進めない。 食べれるときには、「さすがお兄さんだね」等誉めるなどの声掛けをする。「長男だもんね、兄貴だもんね」という声掛けが喜ぶ。 おいしいものを食べた後は食事をしないときが多い。(外食や帰園してきたとき)

			<ul style="list-style-type: none"> ・お家のこと、行事のこと等いろいろ話しながら楽しく食事をする。 ・できる限り遅れないように食事に入る。（「早くしてください」徒テーブルを叩いて催促したり、あまり遅いと食事をひっくり返すことがある） ・どうして薬を服用しているのか、どういう薬なのかをしっかりと話しながら飲んでもらう。 ・食欲の無いときには、好物の甘いもの（おはぎ、蒸しパン、お菓子）やジュースなどを用意して食べてもらう。
--	--	--	--

5.<歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助にて磨く 		<ul style="list-style-type: none"> ・「歯磨きするよ」と声を掛ける。 ・歯ブラシを口に近づけると自分で口を開けてくれる。 ・うがいの水は飲んでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きをしながら、口内炎ができていないか等口の中を注意して見せてもらう。 ・前歯にブリッチが入っているので、汚れやすいため、しっかり磨く（歯茎を痛めないように気をつける）

6.<排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 ・終日オムツ使用 ・自然排便 	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘薬服用（ラキソベロン） ・オムツカバー用意 ・アダルパーは、昼、夜3枚使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘薬を眠前に服用（状態により量は調節していく） ・夜間は、男性用尿取りパットを当てアダルパーをする。 ・排泄表に状態を記入する。 ・定時に濡れていたら、アダルパーの交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツを交換するとき、交換することをきちんと話してから交換する。 ・排便のオムツ交換の際には、ぬるま湯で洗い、流してから交換する。（洗淨ボトルを使用） ・朝6：00頃、起床していたら、様式に座ってもらう。タイミングよく出たときにはしっかりと誉める。 ・定時でオムツ交換をするが、オムツが濡れていないときには、本人に話をして、洋式トイレに座ってもらう。タイミングよく出たときには、誉めたり、励みとなる声掛けをする。 ・夜間の尿とりパットを使用する際、女性用と同じように当てる。（三角にするとかぶれる） ・痔で便秘の方なので、大量排便や硬い便の時等出血が無いか確認する。出血があった時は「ボラギノール」を使用する。

7.<入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの時、横になるためのバスタオルを敷く ・オムツを用意する ・治療薬を用意する ・専用の車椅子を用意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスタオルの上に横になってもらい着替えをする。 ・浴室への出入りの際は、転ばないようにしっかりと支え、できるだけ歩いてもらう。 ・湯船の出入りは、浴槽の縁に腰掛けてもらい、抱き下ろすようにして行う。 ・お湯から肩が出ているときには、乾いたタオルを肩に掛け、冷やさないようにする。 ・湯船の中では専用の車椅子を使用する。 ・着替えが済んだら水虫の治療をする。 ・頭に脂が残る場合があるので、しっかりと洗い流す。 ・股関節が硬く汚れが溜まるのでしっかりと洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が楽なようにマットの上に横になって洗わせてもらう。 ・洗髪の際には、お湯を飲まないように気をつける。 ・湯船に使っている間に発作を起こすことがあるので目を離さない。 ・湯船から上がるときには、「もう出ようか？」と声を掛けてから出してもらう。 ・専用の車椅子に座り、必ずベルトをし、体を固定して入ってもらう。 ・脱衣室にはバスタオルを敷き、オムツを広げておくとき着替えをする際に手順が良い。 ・治療の際「水虫の治療をするよ」と声を掛ける。

--	--	--	--

8. <就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 ・車椅子で居室まで移動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの毛布（掛け・敷き）用意、専用の枕も用意する ・血行をよくする配慮として、足枕を準備する ・睡眠時間の記録 ・眠前薬あり（ラキソベロン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均睡眠時間：21：00～6：00 ・イオン毛布を敷布団の上に敷き、イオンの掛け毛布を掛け、その上に掛け布団を掛けて、休んでもらう。 ・寝るときは、靴下を脱いでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜眠れないときがある。お茶などを飲んでもらい、添い寝をする。帰省の内容の話をする（お祭り、花火など楽しくて眠れない時がある。） ・寝返りをし、布団から出て畳の上に寝ていることがある。見回りをしたとき、布団へ入れる。 ・血行をよくするため、足枕に両足を乗せて寝る。

9. <爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 ・介助にて問題なく切れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・爪切り 	<ul style="list-style-type: none"> ・「爪切るよ」と声を掛けてから切らせてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長いと頬、首前をかいて傷ができるので、長さに注意する。 ・終わったことを伝え、「ありがとう」等声を掛ける。

10. <耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・耳かき 	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛けをし、やらせてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動いてしまうので、注意して行う。 ・以前、通院しているので、溜まってしまわないようにする。 ・耳の縁も汚れを取る。

11. <ひげ剃り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 ・声掛けにて問題なくやらせてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・髭剃り 	<ul style="list-style-type: none"> ・「髭を剃るよ」と声掛けをするとやらせてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よだれがたれるので、拭いてから剃る。 ・剃りにくいところは

12. <移動>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・全面介助 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内 ・車椅子使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動は本人に伝えてから行なう 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し掛けながら移動する。 ・どこに行くのか説明し、移動するようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 屋外 ・車椅子使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内と同様 	<ul style="list-style-type: none"> ・外気との気温差に気をつける。

13. <健康>

一般的な健康状態（体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等）	てんかんの状況と対応 （発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応）
----------------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> 自律神経が弱いので、丸一日の行事、旅行等の疲れは抜けにくい。 体温調節が難しいので注意する 	<ul style="list-style-type: none"> 全身けいれん、チアノーゼ、失禁を伴う発作がある。 毎食後、抗てんかん薬服用
風邪・発熱時の状況と対応 (症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等)	内科的疾患(腹痛・下痢・便秘等の状況と対応)
<ul style="list-style-type: none"> 咳が出て、体温が高くなる。 布団の中に入り、静養できる。 水分補給はストローでボカリスエット 喉が痛いときには、ゼリー、プリン、ヨーグルト等にて食事を摂ってもらう。 体温計は声掛けして、わきの下に入れ、軽く手を添え、腕を動かさないようにして行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 排便が少ないので、下剤を服用している。 便秘になりやすいので、毎日一回入眠前、を服用しているが、早朝下痢になりやすいので上司に報告し、指示を仰ぐ。
皮膚科的疾患(水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応)	その他の疾患(耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について)
<ul style="list-style-type: none"> 水虫治療は問題なくできる。 食事によってアレルギーが出る。(光り物) オムツによりかぶれてしまうので、濡れたらすぐに交換する。 自傷をする際、手の甲を噛むので、専用サポーターをつけてもらう。現在、ほとんど自傷はしない。また、サポーターも使用していない ふけ性なので、頭皮のかぶれを起こしやすい。自分でかいてしまうので注意する。 痔で便が出にくいので、排便があった時に血が出てしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 白内障治療の目薬を一日2回点眼する。(Hに白内障の手術をしている) 口内炎がでやすいので注意する(漢方薬服用)
視力・聴力	内服薬の服用方法
<ul style="list-style-type: none"> 白内障の手術をしたので、小さいものは見えにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 錠剤は飲めない。 服用するときには、ハチミツを使用すると上手に飲める。 嫌なときには、指でかき出してしまう。
外用薬等の使用方法	本人の異常(発熱・頭痛・腹痛・歯痛)の訴え
<ul style="list-style-type: none"> 手の届くものは自分でとってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 食欲や日中の極度の睡眠をしているときなどは観察する。

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心遣いの状況
<ul style="list-style-type: none"> 白内障手術後の定期通院(半年おき) 風邪。発熱での通院あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に通院理由と、治療の内容を説明して通院する。 車椅子使用 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みを伴う治療がある場合も包み隠さず伝える。治療の結果、「外出などに行けるようになるよ」などポジティブな声かけをする。

15. 身の回り品等の整理整頓

整理整頓の状況	支援の方法	心遣いの状況
<ul style="list-style-type: none"> 全面支援 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の方で購入したものや衣類を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出で買ってきたものなどは本人が寝ている姿勢で見やすい位置に置いたり、すぐ着てもらう。

16. 金銭管理と使用

管理と使用の状況	支援の方法	心遣いの状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 全面支援 ・ 月1回の外出（外食・おやつ） ・ 服薬用のハチミツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人と相談して購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハチミツやおやつは切らさないように職員で在庫を把握する。
--	--	--

17. 電話

通院の状況	支援の方法	心遣いの状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰省日決定の為の電話 ・ 本人が家庭に伝えたい時に随時行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に話す内容を聞いて、職員が代弁する。 ・ 説明や調整が必要な場合は、事前に両親と職員との連絡が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人にとってネガティブな内容は、本人の前では伝えない。

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日